

---

# 第67回（令和8年度） 東京都保育研究大会

「すべての子どもの権利と育ちを  
保障していく社会の実現」をめざして

## 開催要項

---



※掲載写真は第66回大会分科会の様子です

〔日程〕 全体会（オンデマンド配信）：令和8年6月1日（月）～30日（火）  
分科会（集合型）：令和8年6月4日（木）

〔主催〕 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

東京都保育研究大会は、1954(昭和29)年7月に東京・新宿で開催された東京都保育事業緊急大会を起源としています。  
開始以来、都内の公私立保育所関係者が集まり、保育と子ども・子育てのあり方の研究の場として開催しています。

# 第67回(令和8年度)東京都保育研究大会 開催要項

<b>1 主題</b>	「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして															
<b>2 趣旨</b>	<p>保育人材の不足や待機児童減少に伴う定員割れなど、保育所にとって苦しい状況が続く中で、不適切保育や虐待の報道などを通して、現場には社会の厳しい目が向けられています。その中で「こどもまんなか社会」の実現に向けて、我々には制度や社会の変化に対応しながら、より安全で、質の高い保育を目指すことが求められています。</p> <p>多くの方にご参加いただくため、今年度も全体会はオンデマンド配信、分科会は集合型での開催を継続いたします。参加する保育関係者がテーマに沿って議論し、研究を深めることを通じて、保育をアップデートする機会になれば幸いです。</p> <p>本大会は、すべての人が子どもと子育てに関りをもつ社会の実現をめざし、保育内容の充実、保護者・地域への支援、小学校への接続、安全管理等の現状を取り巻く課題について学びあい、専門性の向上を図り、保育関係者の連携を深めることを目的として開催します。</p>															
<b>3 主催</b>	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会															
<b>4 後援</b>	東京都(予定)・社会福祉法人 全国社会福祉協議会(予定)															
<b>5 日程</b>	<p>◆全体会（オンデマンド配信）◆</p> <p>配信期間:令和8年6月1日(月)～30日(火)</p> <p>(内 容)</p> <p>①開会挨拶・行政説明</p> <p>②基調講演:90分</p> <p>③記念講演:90分</p> <p>※上記時間数は見込みです</p> <p>◆分科会（集合型）◆</p> <p>開催日時:令和8年6月4日(木)10時～16時</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">&lt;分科会スケジュール(目安)&gt;</td> </tr> <tr> <td>9:30</td> <td>10:00</td> <td>12:00</td> <td>13:30</td> <td>16:00</td> </tr> <tr> <td>受付</td> <td>分科会</td> <td>休憩</td> <td></td> <td>分科会</td> </tr> </table> <p>※分科会によって進行が異なります。昼食時間も前後する可能性がありますので、参加者同士で昼食時に待ち合わせる場合は、ご注意ください。</p>	<分科会スケジュール(目安)>					9:30	10:00	12:00	13:30	16:00	受付	分科会	休憩		分科会
<分科会スケジュール(目安)>																
9:30	10:00	12:00	13:30	16:00												
受付	分科会	休憩		分科会												
<b>6 分科会会場</b>	<p>国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟会議室 等 (渋谷区代々木神園町3-1)</p> <p>【アクセス】 小田急線「参宮橋」駅より徒歩7分 <a href="https://nyc.niye.go.jp/access">https://nyc.niye.go.jp/access</a></p> 															
<b>7 対象者</b>	東京都内公私立保育所関係者、福祉・保健・教育・行政関係者、社会福祉協議会関係者、保護者、研究者、学生、その他保育関係者 等															
<b>8 運営</b>	この大会は、東京都社会福祉協議会保育部会常任委員会と大会企画委員会を中心に、保育部会地区委員、青年委員、会員保育所各位の協力によって運営されます。															
<b>9 参加費</b>	<p>(1)全体会参加費</p> <p>個人単位でのお申込み:会員 7,000円/非会員 10,000円</p> <p>施設単位でのお申込み:会員17,000円/非会員 26,000円</p>															

	<p><b>(2)分科会参加費(一人につき)</b>          会員 2,000円/非会員 3,000円</p> <p>※全体会のみのお申込みは可能ですが、分科会のみのお申込みはできません。          例1)全体会に個人単位でお申込み、分科会もお申込みの場合の参加費          ➡全体会7,000円+分科会2,000円=9,000円          例2)全体会に施設単位でお申込み、分科会は2名お申込みの場合の参加費          ➡全体会17,000円+分科会2,000円×2名=21,000円</p> <p>※全体会に「施設単位」でお申込みいただく場合、資料や視聴用リンク等の情報を施設内の職員に限り共有いただくことができ、人数制限なく視聴いただくことができます。</p>
<b>10 定員</b>	<p>(1)全体会          オンデマンド配信のため、定員設定がありません。お申込みいただいた時点で、参加が決定となります。</p> <p>(2)分科会          申込状況や使用会場によってそれぞれ定員を設定いたします。          お申込みは原則として先着順となりますので、お申込み時点で第1希望の分科会が定員に達している場合、第2希望で参加決定させていただきますので、ご了承ください。</p>
<b>11 昼食について</b>	<p>分科会会場には食事・休憩場所としてイートインスペース(利用無料)がございます。ご希望の方に限り「カフェテリア ふじ(センター棟2階)」の昼食券(お一人 810 円※)をご用意します。昼食券の用意を希望する方は参加申込時にお知らせください。</p> <p><b>【昼食券の用意について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ご希望いただいた方については、昼食券代(お一人 810 円※)を参加費と併せてご請求いたします。</li> <li>● 「カフェテリアふじ」はセルフサービス・カフェテリア形式の食堂です。当日はメイン3種類の昼食メニュー(日替)から、好きな料理を選択できます。</li> <li>● 昼食券は当日 11:30～13:15 のみ有効です。</li> <li>● 一度お申込みをいただいた後の昼食券の払い戻しはお受けできません。ご了承ください。</li> <li>● 当日券もあるため、時間帯によっては混雑が予想されます。お座席の確約はできませんのであらかじめご了承ください。</li> <li>● 分科会によって進行が異なるため、昼食時間は前後する場合があります。参加者同士でお待ち合わせされる場合には十分にご注意ください。</li> </ul> <p><b>【参考】</b>          会場ホームページ (カフェ&amp;フード)  <a href="https://nyc.niye.go.jp/facilities/cafefood">https://nyc.niye.go.jp/facilities/cafefood</a></p>  <p>※昼食券の販売価格は、令和8年2月19日時点の価格です。令和8年度に変動する場合、参加費のご請求時にご連絡いたします。          ※センター建物内での飲食は、定められたところ以外では禁止となっております。</p>
<b>12 申込み</b>	<p>下記の申込サイトから、お申込みをお願いします。なお、申込サイトは、主催者が参加取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する業者で作成されたページです。          法人・園の代表者様や区市町村所管課様が、複数園・複数名を取りまとめてお申込みいただくことが可能です。</p> <p><b>【申込サイト URL】</b>  <a href="https://www.mwt-mice.com/events/t-hoiku2026">https://www.mwt-mice.com/events/t-hoiku2026</a></p> <p><b>【申込受付期間】</b>          令和8年4月13日(月)～5月15日(金)</p> 

	<p>※取りまとめて複数名の参加申込みを行っていただく場合、本大会に係るご連絡先、郵送物の送付先等は、すべてご登録いただいた「申込担当者」様宛となりますので、あらかじめご承知おきください。</p>
<p><b>13 参加の決定と参加費のご請求</b></p>	<p>(申込受付完了メールについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 申込受付完了後、登録されたメールアドレス(申込担当者様宛)に「受付完了メール」が届きます。翌営業日を過ぎても「受付完了メール」が届かない場合は、迷惑メールフォルダ等にも未着なことをご確認の上、本会が事務を委託している業者「名鉄観光サービス株式会社」までご連絡ください(15 お問い合わせ先参照)。</li> </ul> <p>(参加決定通知について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 申込受付期間終了後、ご参加いただく分科会が決定した後、登録されたメールアドレスに「参加決定通知」をお送りします。</li> <li>● 分科会の参加者には、電子データで参加券を発行する予定です。詳細は参加決定通知等で改めてお知らせいたします。</li> </ul> <p>(参加費のご請求について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加費のご請求も本会が事務を委託している名鉄観光サービス株式会社が行います。請求書(インボイス対応)は「参加決定通知」の送付後、申込サイトのマイページよりダウンロードいただけます。</li> <li>● 請求書をダウンロードの上、記載の口座へ参加費をお振込みいただきますよう、お願いいたします(送金手数料は各自でご負担ください)。なお、振込先は名鉄観光サービス株式会社の指定口座となりますので、あらかじめご了承の上でお申し込みください。</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加費のご入金を持って正式な申し込みといたします。</li> <li>● 原則として、ご入金後の参加費は返還できませんのでご了承ください。</li> <li>● 振込案内を確認いただけましたら速やかにお振込みをお願いいたします。</li> <li>● 参加費の領収証は、原則として金融機関の振込の控えをもって代えさせていただきます。特に領収証が必要な場合は、別途名鉄観光サービス株式会社までご連絡ください。</li> <li>● 誤入金等によるご返金の必要が生じた場合、振込手数料をご負担いただくこととなりますのであらかじめご了承ください。</li> </ul>
<p><b>14 その他(資料等について)</b></p>	<p>【全体会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体会(開会・基調講演・記念講演)の動画視聴にかかる専用ページへのログイン情報については、参加決定後、申込担当者様宛にメールでご案内いたします。</li> <li>● 参加申し込みをいただいた方以外に共有することが無いよう、取り扱いには十分にご注意ください。施設単位で参加いただいている場合は、同施設内に限り共有が可能です。</li> </ul> <p>【大会資料について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>本大会では、資料の印刷及び配布を行わず、全てデータによる配布とさせていただきます。</u></li> <li>● 資料データダウンロード方法等は参加決定後、メールにてご案内いたします。なお、ご案内先はお申込み時にご登録いただいたお申込担当者様宛となりますので、適宜転送いただくなど、ご協力をお願いいたします。</li> <li>● 「全体会」の資料については、参加者にお知らせする「全体会視聴専用ページ」上にデータ(PDF等)を掲載し、各自必要な資料をダウンロードいただく形を予定しております。</li> <li>● 「分科会(集合型)」の資料についても、データで配布させていただきます。なお、参加される分科会によらず、全分科会の資料(データ)をそれぞれダウンロードい</li> </ul>

	<p>ただける形に設定する予定です。<u>分科会当日はご自身の参加する分科会資料を印刷するなどして、各自でご持参いただくことになります。</u></p> <p>※当日会場での資料配布、販売は行いません。分科会にご参加の皆さまは、当日お忘れにならないようご注意ください。スマートフォンやタブレットにデータをダウンロードいただいて持ち込んでいただくことは問題ありません。</p>
15 お問い合わせ先	<p><b>【開催内容について】</b>          社会福祉法人東京都社会福祉協議会 福祉部 児童・障害担当 保育部会事務局          (TEL)03-3268-7174 (FAX)03-3268-0635</p> <p><b>【参加申込み・お振込み・参加券等について】</b>          名鉄観光サービス株式会社 MICE センター          〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル内          (TEL) 03-3595-1121 (FAX) 03-3595-1119          受付時間:平日 10:00~17:00・土日祝日休業</p>

## ◆プログラム(予定)◆

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新の情報は東社協保育部会ホームページ等でお知らせします。

## 全体会(オンデマンド配信) 6月1日(月)~30日(火)

### ◆第1部 開会

○開会挨拶

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 保育部会部会長

○行政説明(予定)

(1)東京都福祉局 子供・子育て支援部 保育支援課  
「東京都の保育施策について」

(2)こども家庭庁 支援局総務課 こども性暴力防止法施行準備室  
「こども性暴力防止法の施行について」

### ◆第2部 基調講演

## 「子どもの『主体性』を育む保育とは」

### 講師

北海道大学 大学院教育学研究院附属

子ども発達臨床研究センター 教授

川田 学(かわた まなぶ) 氏



子どもの「主体性」とは何でしょうか? とても難しい問題です。

子どもにやりたいことをさせてあげればよいのでしょうか。

でも、「主体性」が24時間365日子どもに認められなければならないものだとなれば、ただ単純に「やりたいようにさせる」だけでは、生活も回りませんし、子どもも糸の切れた凧のようになってしまわないのでしょうか。

講演では、主体性を子どもに預けるような考え方ではなく、

人や環境との豊かなやりとりの中でとらえていく考え方についてお話したいと思います。

事例や海外の実践とも関連づけながら、なるべく具体的に言語化したいと思います。

[プロフィール]

北海道大学大学院教育学研究院・教授、附属子ども発達臨床研究センター・センター長。博士(心理学)。東京都立大学大学院を経て、2005年から香川大学、2010年から北海道大学に奉職し、2025年より現職。

専門は発達心理学、保育学。保育所や幼稚園等の実践アドバイザーや研修講師を務めるほか、札幌のNPO法人子育て応援かざぐるま・理事として、子育て支援者や保護者に向けた研修冊子や講座などを運営。

現在、北海道こども施策審議会・会長として、子どもに関わる施策に子どもの声をどう反映させていくか、研究者としての応用問題に取り組んでいる。

主な著書に、『子どもをあらわすということ』(北大路書房)、『保育的発達論のはじまり』(ひとなる書房)、『子どもの世界を守る:遊び・育ち・経験』(明石書店)、『0123 発達と保育:年齢から読み解く子どもの世界』(ミネルヴァ書房)などがある。

### ◆第3部 記念講演

## 「人と出会って絵本が生まれる」

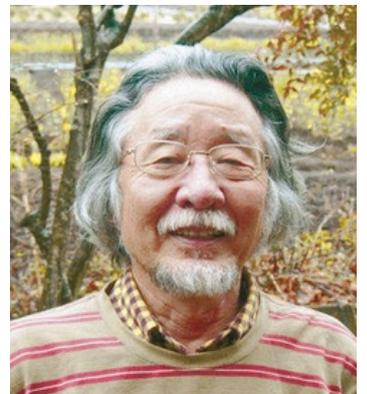
講師

絵本作家

西村 繁男(にしむら しげお) 氏

自分らしい絵本とは何だろう、と考えながら絵本を作ってきて、50年ほど経ちました。振り返ると、大事な所で必ずこの方と出会わなければ、と思われる方に出会っています。その方達と出会うことで、私はそれまでと違うところに行くことができました。

私の絵本を通してそんな方々との出会いをお話したいと思います。



[プロフィール]

1947年、高知県に生まれる。中央大学商学部在学中より、セツモードセミナーに通う。卒業後、ベトナムの子どもを支援する会に入り、野外展に出品。

絵本に『やこうれっしゃ』『おふろやさん』『チータカ・スーイ』『絵で見る日本の歴史』(絵本にっぽん賞大賞)、『ぼくらの地図旅行』(共著)、『絵で読む広島原爆』(サンケイ児童出版文化賞・共著、以上福音館書店)、『にちよういち』『がたごと がたごと』『おばけでんしゃ』『むしむしでんしゃ』(共著、以上童心社)、『おでんさむらい』(共著、くもん出版)などがある。神奈川県在住。

## 1 子どもの育ちを保障する

保育所の大きな役割は、子ども自身が自ら伸びようとする主体的な力を引き出し、将来、人と手をとりあつて社会の中で生きていくための、基礎となる力を育てることです。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために「質の高い保育」について研究を深め、その保育を実践する人材を育成し、研修の充実を図ります。

「すべての子どもに向けて新たな時代の保育実践」～保育所保育指針に基づく質の高い保育を提供する～

- ① 質の高い保育のあり方について研究をすすめ、実践に繋げる
- ② 自己評価等を研究・活用し、保育の質の向上をすすめる
- ③ 利用者の個別ニーズに対応した、きめ細かな保育を提供する

### 第1分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 0・1歳児 —

【助言者】 非営利団体コードモミカタ 代表理事 井桁 容子 氏

【発表者】

1. 社会福祉法人ダビデ会 幼保連携型認定こども園 昭島ナオミこども園(昭島市)  
「健やかな心身の発達のために ～リスクをキャッチする力の獲得へ向けて～」

### 第2分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 2歳児 —

【助言者】 東京成徳短期大学 特任教授 寺田 清美 氏

【発表者】

1. 社会福祉法人こうほうえん 岩淵保育園(北区)  
「2歳児の遊びと環境 ～主体性に繋げる個の遊びと尊重～」
2. 社会福祉法人東京都福祉事業協会 尾久隣保館保育園(荒川区)  
「気になる子から学ぶ保育」
3. 社会福祉法人至愛協会 あすのき保育園(多摩市)  
「育児担当制から考える子どもの社会性 ～安定した愛着関係が育む他者との関わり～」

### 第3分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 3歳以上児 —

【助言者】 白梅学園大学 こども学部 教授 師岡 章 氏

【発表者】

1. 社会福祉法人高洲福祉会 練馬区立豊玉保育園(練馬区)  
「豊かに広がる遊びの世界 ～自分の好きを發揮していきいきと過ごす毎日～」
2. 社会福祉法人豊川保育園 豊川保育園(北区)  
「グループ活動を通して見えてきた子どもの姿」
3. 社会福祉法人東京家庭学校 高井戸保育園(杉並区)  
『イメージの世界へようこそ』～3歳児のイメージあそび～

### 第4分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

『保育現場において、さまざまな配慮を必要とする子、発達に課題のある子の増加が報告されています。』

日々の保育における、子どもとその保護者への関わり方に関して、園全体で共通理解を図るとともに保護者の抱える子育て上の悩みを受け留めながら、信頼関係に基づく支援を実施してゆく保育が求められています。

保育は、子どもの家庭を支えています。その園での生活体験が、障がいを抱える子ども一人ひとりの発達を支え、そして、同じ時間を共有しながら一緒に過ごしている元気なお友達との互いの成長を支え合っています。保育は、みんなの明日へと繋がっています・・・みんな一緒に生きてゆくために！！』

本分科会では、困難を抱える子ども、その保護者への具体的支援を目指して、現場の実践報告から知見を深めたいと考えています。

【助言者】 臨床発達心理士・スーパーバイザー 橋場 隆 氏

【発表者】

1. 社会福祉法人松栄福祉会 まつぼっくり保育園(羽村市)  
「やわらかな心で紡ぐ共育で」

### 第5分科会 職員の資質向上を図る

これまで待機児童解消に向けて多くの保育所が新設されてきましたが、近年では待機児童は減少傾向にあり、量の問題は解消されつつあります。また、就学前の豊かな経験が後の人生に大きな影響を与えること、幼少期の非認知能力の向上が大事であることが明らかとなっています。このような中、現在、就学前の保育は、量から質へと大きな転換が図られています。今後、保育の質の中核を担う保育所職員一人ひとりの資質向上、チームワークの形成に加え、園組織のマネジメントがより一層求められるといえるでしょう。

本テーマでは、保育所職員の資質向上に向けた効果的・具体的な実践、そして保育従事者に求められる自己啓発のための取組みについて、研究を深めます。

【助言者】 洗足こども短期大学 科長補佐・教授 井上 眞理子 氏

【発表者】

1. 文京区立保育園研究会(文京区)  
『子どもの主体性を大切にする保育園づくり』～子どもがもっと輝く保育者の関わりを目指して～

## 2 多様な連携と協働で、子育てライフを支援する

子どもが心身ともに豊かに成長するためには子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。また、子育てへの不安や児童虐待への対応等、子育て家庭への支援は地域社会を基盤とする多面的な取り組みの充実が求められています。保育施設は様々な機関・組織・団体や住民が連携し、子育て支援の拠点として、すべての家庭を対象とした取組を考えていきます。

- ① 保育施設を利用する保護者への支援を充実する
- ② 地域子育て家庭への支援を充実する
- ③ 子育て・子育て支援のネットワークの中で保育施設の役割を發揮する
- ④ 地域の保育機能を強化する
- ⑤ 子育てへの関心を高める
- ⑥ 子育て文化につながる活動を広げる

### 第6分科会 子どもの心と身体の食育活動を考える ～家庭や地域との連携による食育の推進～

保育所保育指針で「食育の推進」が取り上げられ、子どもが主体的に参加し、食べることを楽しむことが重要視されています。子ども同士、保育士や給食担当者や地域の人たちと一緒に食べたり食事を作ったりすることを経験して子どもが人と関わる力を育てることも求められています。そのためには、調理する人への感謝の気持ちが育つようまた、「美味しく、楽しく食べること」が大切であり、子どもが安心して食べられる環境にあること、保護者との信頼関係や職員間での連携が必要です。

本テーマでは、改めて食を通じた学びの機会を充実させるための保育実践、保護者・地域と連携した食育、食物アレルギーへの対応について研究を深めます。

【助言者】 大妻女子大学短期大学部家政科 准教授 小野 友紀 氏

【発表者】

1. 大田区公立保育園(大田区)  
「楽しく食べるこどもに ～大田区立保育園における食育の取り組み～」
2. 社会福祉法人三社会 深大寺保育園(調布市)  
「子どもの心と体の食育活動 ～園庭に畑をつくる～」
3. 株式会社アスパイアエックス さんさん森の保育園大井町(品川区)  
「媒体を使った食育の実践と子どもの成長」

## 第7分科会 保育所の持つ機能を保護者支援・地域支援・保幼小の連携に活かして

### ～子どもにとってより良い育ちを求め その支援を考える～

地域のつながりが弱まる中、核家族化など家庭形態の変化により、子育てに孤立感・孤独感を深めている家庭が増加し、その支援や援助のあり方も様々になっています。保育者は、保護者が子育ての喜びが得られるように、気持ちを読み取る力をつけながら、思いや不安の解消に向け、子育て力の向上につながるよう保育所の機能を活かした支援が求められています。さらに貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防など地域の関係機関との連携・協働を持ってすすめるべき取り組みも多々あります。

本テーマでは、子どものより良い育ちに向け、多様な機関との連携・協働の進め方や保育所が果たす役割について研究を深めます。

【助言者】 東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科心理専攻 教授 藤後 悦子 氏

【発表者】

1. 豊島区公立園副園長会(豊島区)

「マイはいくえん事業 ～地域の子育てを支えるために～」

2. 社会福祉法人高洲福祉会 豊玉保育園(練馬区)

「地域と共育ち ～地域と繋がり合い、子どもも保護者もみんなで育ち合う保育園～」

## 3 子どもの心身の健全な発達を考える

### 第8分科会 コアオーディネーショントレーニングで大人と子どもの脳力アップ！

最近増えている子どもの“からだのおかしさ”に関する調査では、「保育中、じっとしていない」や「背中ぐにゃ」といった子どもの増加が報告されています。それと同時に、今後の保育現場を担う学生や若者達の不器用さや身のこなし不自然さ、対面コミュニケーション能力の低下なども指摘されています。

本分科会で紹介する「コアオーディネーショントレーニング」は、運動と神経の発達の順序に沿って脳・神経系に刺激を与えることで、子どもから大人まで運動の学習能力を高める方法です。幼児期においては、“遊びの本質”となる2つのことを引き出して、自ら進んで運動しようとする意欲を高めていくアプローチになります。

東京都教育委員会は「総合的な子供の基礎体力向上方策」に位置づけてJACOTと10年間推進しました。導入した園や学校からは、体力・運動能力の向上、ケガの減少、集中力・姿勢への効果が報告されています。

千代田区教育委員会は令和4年度から全ての区立保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校で導入を始めました。NHKの「ガッテン！」や「おはよう日本」で紹介され、子どもだけでなく大人にも効果があり、運動神経を良くするトレーニング。スキップやフラフープが出来なかった先生が急に出来るようになったり、腰痛が改善されたりといった事例があります。今回は講義と実技を通じて、保育現場での実践方法をお伝えします。

\* 第8分科会にご参加される方は、体育館用の靴、動きやすい服装でお越しください。

【講師】日本コアオーディネーショントレーニング協会・JACOT 副理事長・事務局長 菅野 映 氏